

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-284439

(43)公開日 平成7年(1995)10月31日

(51)Int.Cl.<sup>8</sup>

A 47 G 29/00

識別記号

庁内整理番号

J 7361-3K

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数2 O L (全4頁)

(21)出願番号

特願平6-78368

(22)出願日

平成6年(1994)4月18日

(71)出願人 000115968

レック株式会社

東京都文京区小石川5丁目2番7号

(72)発明者 菊袋 政司

東京都文京区小石川5丁目2番7号 レック株式会社内

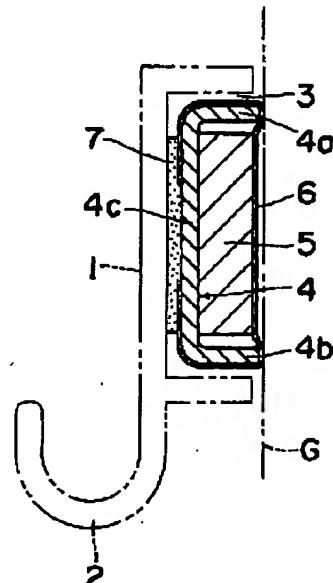
(74)代理人 弁理士 尾股 行雄

(54)【発明の名称】 磁性吊下具

(57)【要約】

【目的】 シートの接着性を強化し、高荷重でもシートの皺や剥離等を起さず安心して使用できる磁性吊下具を提供する。

【構成】 吊下具本体1の背面に設けた凹部3内に、断面コ字状の磁性板4をその側面4a、4bが磁着位置の垂直方向に対し上下に対設するように嵌合させ、且つ上記磁性板4内に磁石5を抱持させて成る磁性吊下具において、磁着時の滑り止め兼損傷防止用のシート6を上記磁石5の表面から上記磁性板4の上下側面4a、4bを越え、或いは、別の方法として、上記磁性板4の下側面4bを越えて背面4cまで巻き付けて接着すると共に、その上に感圧型接着剤等の接着剤7を付けた。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 吊下具本体(1)の背面に設けた凹部(3)内に、断面コ字状の磁性板(4)をその側面(4a)、(4b)が磁着位置の垂直方向に対し上下に対設するように嵌合させ、且つ上記磁性板(4)内に磁石(5)を抱持させて成る磁性吊下具において；磁着時の滑り止め兼損傷防止用のシート(6)を上記磁石(5)の表面から上記磁性板(4)の上側面(4a)、及び下側面(4b)を越えて背面(4c)まで巻き付けて接着すると共に、その上に感圧型接着剤等の接着剤(7)を付けたことを特徴とする磁性吊下具。

【請求項2】 吊下具本体(1)の背面に設けた凹部(3)内に、断面コ字状の磁性板(4)をその側面(4a)、(4b)が磁着位置の垂直方向に対し上下に対設するように嵌合させ、且つ前記磁性板(4)内に磁石(5)を抱持させて成る磁性吊下具において；磁着時の滑り止め兼損傷防止用のシート(6)を上記磁石(5)の表面から上記磁性板(4)の下側面(4b)を越えて背面(4c)まで巻き付けて接着すると共に、その上に感圧型接着剤等の接着剤(7)を付けたことを特徴とする磁性吊下具。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、磁石及びそれを抱持する磁性板を吊下具本体に固定させた磁性吊下具に関し、詳しくは上記磁石及び磁性板を被覆する滑り止め兼損傷防止用のシートの効果的な貼り付けに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来より、鉤部をもつフック、小物を入れる箱体、屑籠、或いはタオル掛け等を本体とした吊下具類に磁石を抱持した磁性板を取り付け、これを冷蔵庫、或いはスチール製の机や壁等に磁着させて使用する磁性吊下具が広く利用されている。そして、このような磁性吊下具では、磁着の際の滑り止めと、対象面への擦過傷を防止するため図4に示すように磁石5や磁性板4にプラスチック製のシート6を接着し、それらを被覆している。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記被覆は図のように磁性板4の上下側面4a、4bまでしか為されていないため、接着面積が不足してシート6の接着力が弱く、高荷重用に強力な磁石を用いた吊下具では、シート6と対象面Gとの摩擦抵抗が大きくなり、シート6を接着している接着剤が物品の荷重に抗しきれず、徐々にずれてシート6に皺が寄ったり、ついにはシート6が剥がれて磁性板4の側端面が表出し、これが対象面(冷蔵庫、机、壁等)を傷付けてしまうという不都合が生じた。

【0004】本発明の目的は、かかる不都合を解消し、

10

上記シートの接着性を強化し、高荷重でもシートの皺や剥離等を起こさず安心して使用できる磁性吊下具を提供することにある。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】吊下具本体の背面に設けた凹部内に、断面コ字状の磁性板をその側面が磁着位置の垂直方向に対し上下に対設するように嵌合させ、且つ上記磁性板内に磁石を抱持させて成る磁性吊下具において、磁着時の滑り止め兼損傷防止用のシートを上記磁石の表面から上記磁性板の上下側面を越えて背面まで巻き付けて接着すると共に、その上に感圧型接着剤等の接着剤を付けた。

【0006】又、別の方法として、上記シートを磁石の表面から上記磁性板の下側面を越えて背面まで巻き付けて接着すると共に、その上に感圧型接着剤等の接着剤を付けた。

## 【0007】

【作 用】滑り止め兼損傷防止用のシートを磁石の表面から磁性板の上下側面、或いは下側面を越えて背面まで接着し、被覆寸法を長くして接着面積を増やすと磁性板とシートとの接着力が強化され、高荷重によるシートの皺や剥離が防止される。

【0008】又、磁性板の背面まで巻き付けた上記シートの上に感圧型接着剤等の接着剤を付け、端末部を固定するとシートの接着性はより強固になる。

【0009】特に上記シートを磁性板の下側面を越えて接着した場合は、フック等のような下方向へ荷重が掛かるものに対して強力となる。

【0010】又、上記シートを磁性板の上下両側面を越えて接着した場合は、タオルリングのように様々な方向からの荷重に対し強力となる。

## 【0011】

【実施例】図1は本発明の一実施例を示すもので、1は下端に鉤部2を連設した吊下具本体で、その背面には凹部3が形成されている。この凹部3内に断面コ字状の金属板より成る磁性板4をその両側面4a、4bが磁着位置の垂直方向に対し上下に対設するように嵌合させ、この磁性板4内に磁石5を抱持させてある。更に、これら磁石5と磁性板4の上下側面4a、4bには、対象面Gに磁着する際に介在させる滑り止め兼損傷防止用のシート6を貼着させてある。

【0012】かかるシート6としては、一般的に粘着テープが用いられているが、その材質は機械的強度に優れ破れにくく、且つ摩擦抵抗が大きいウレタンシート(非発泡)が適しており、これに粘着層を設けて使用する。又、その厚さは磁着力の低下を考慮し、現状では粘着層等を含めて0.15mm程度のものが適切である。又、図3に示すようにウレタンシート6aに直接、感圧型接着剤を塗布するのではなく、ポリエステルフィルム6bを介して粘着層6c、6dを設けたものが強度があり、

20

20

30

30

40

40

50

より好ましい。

【0013】図1に示すようにシート6は磁性板4の上下側面4a、4bを越えて磁性板4の背面4cに巻付けるように接着され、更に接着された背面側のシート6の上からは感圧型接着剤等の接着剤7が付けられ、シート6の端末部をしっかりと固定すると共に磁石5を抱持した磁性板4は吊下具本体1背面に設けられた凹部3内に上記接着剤7によって貼り付けられ固定されている。このようにシート6の端末部を固定すると同時にシート6を貼り付けた磁性板4を吊下具本体1背面に固定するような場合には、感圧型接着剤のうち基材を有する両面粘着テープを使うと作業性が良く効率的である。

【0014】以上のように本発明によれば、シート6を磁性板4の背面まで接着し、被覆寸法を長くして接着面積を増やし、磁性板とシートとの接着力を強化すると共にシート端末部の上に感圧型接着剤等の接着剤7を付け、端末部をしっかりと固定するとシートの接着性はより強固になり、高荷重によるシートの皺、剥離が防止できるのである。

【0015】図1の例は、シート6を磁性板4の上下側面4a、4bから巻付けた場合を示しているが、この場合は、様々な方向から力が加わるタオルリングのようなものに対し強力な接着性を発揮する。

【0016】これに対し、図2に示すものは、上記シート6を磁性板4の下側面4bのみから巻き付けたもので、一般に荷重が下方にのみ掛かるフックのようなものに適している。この場合は従来品と比べ、シートの使用量はさほど増えないため、さほどコストアップにならずに効果的な接着性を得ることができるといった利点がある。

【0017】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、吊

下具本体の背面に設けた凹部内に、断面コ字状の磁性板をその側面が磁着位置の垂直方向に対し上下に対設するように嵌合させ、且つ上記磁性板内に磁石を抱持させて成る磁性吊下具において、滑り止め兼損傷防止用のシートを上記磁石の表面から磁性板の上下側面、或いは下側面を越えて背面まで巻付けて接着し、被覆寸法を長くして接着面積を増やしたので、磁性板とシートとの接着力が強化され、更に上記シート端末部の上に感圧型接着剤等の接着剤を付け、端末部をしっかりと固定したのでシートの接着性はより強固になり、高荷重によるシートの皺や剥離が防止される。この結果、磁性板側端面の金属部が表出して、これが磁着対象面を傷付けてしまうという不都合を解消することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による磁性吊下具の縦断面図である。

【図2】図1とは異なる磁性吊下具の部分断面図である。

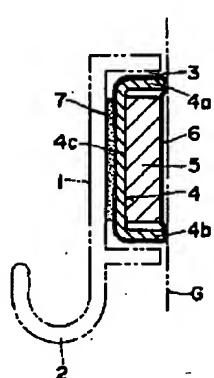
【図3】滑り止め兼損傷防止用のシートの構造を示す部分拡大断面図である。

【図4】従来の磁性吊下具の縦断面図である。

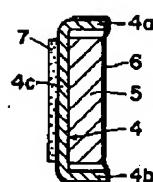
【符号の説明】

- 1 吊下具本体
- 2 鉤部
- 3 凹部
- 4 磁性板
- 4a 上側面
- 4b 下側面
- 4c 背面
- 5 磁石
- 6 シート
- 7 接着剤

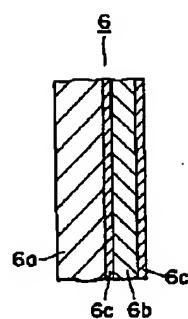
【図1】



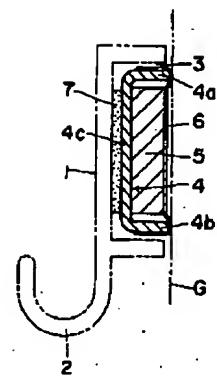
【図2】



【図3】



【図4】



PAT-NO: JP407284439A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 07284439 A

TITLE: MAGNETIC HANGER

PUBN-DATE: October 31, 1995

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

MINAE, MASASHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
RETSUKU KK	N/A

APPL-NO: JP06078368

APPL-DATE: April 18, 1994

INT-CL (IPC): A47G029/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide a magnetic hanger which enables the using thereof free from care without wrinkling, peeling or the like of a sheet under even a high load by intensifying the adhesiveness of the sheet.

CONSTITUTION: In a magnetic hanger, a magnetic plate 4 with a U-shaped cross section is fitted into a recess part 3 formed on the rear of the body 1 of the hanger so that the sides 4a and 4b thereof are arranged facing each other at upper and lower points in the vertical direction of a position of magnetization while a magnet 5 is wrapped in the magnetic plate 4. A sheet 6 for preventing slide and damage concurrently in the magnetization is bonded being wound up to a rear side 4c from the surface of the magnet 5 beyond the upper and lower sides 4a and 4b of the magnetic plate 4 or otherwise, beyond the lower side 4b of the magnetic plate 4 while an adhesive 7 such as pressure- sensitive type adhesive is applied thereon.

COPYRIGHT: (C)1995,JPO